HONDA
The Power of Dreams

Honda Baby ISOFIX

取扱説明書

このたびは、Honda純正用品をお買い上げいただき、ありがとうございます。この取扱説明書は、ご使用のまえによくお読みいただき大切に本体の収納ボックスに保管してください。

●当商品をISOFIXでお使いになる場合は、当準汎用型ISOFIXチャイルドシートの取り付けを認可された車両にのみ使用可能です。適用車種以外の車に取り付けた場合の責任は一切負えませんのでご承知おきください。また、取り付けできる座席につきましては、お車の取扱説明書、または販売店にご確認ください。

●商品を譲られる場合には、この取扱説明書も一緒にお渡しください。

Honda Access

Honda Baby ISOFIX
取扱説明書

Honda Baby ISOFIXは、小さなお子様が安全に過ごすお手伝いをいたします。

お子様をしっかり保護するために、Honda Baby ISOFIXの使用と取り付けは、必ず取扱説明書に従って確実に行ってください。

ご使用に際してご不明な点がございましたら販売店または、お客様相談室にご連絡ください。

目次

1. マーク表示について ……2
2. 各部の名称・同梱品 ……3
2.1 ベビーシート ……3
2.2 同梱品 ……4
3. 認可、適合性 ……5
4. 車両内での使用 ……6
5. お子様の安全 ……7
5.1 サポートクッションの取り外し ……8
5.2 ハンドルの調節 ……8
5.3 肩ベルトを緩める ……10
5.4 ヘッドサポートの調節 ……10
5.5 お子様のベルトを締める ……12
5.6 ベルトを締める ……14
5.7 次の通りにお子様の安全を確認してください ……15
6. 車両内への取り付け ……16
6.1 ISOFIXベースを使用して取り付ける場合 ……17
6.2 ベビーシートをシートベルトで取り付ける場合 ……20
6.3 次の通りにベビーシートが正確に取り付けられていることを確認してください ……23
7. サンシェードの取り付け ……24
8. 保護性能の維持 ……25
9. お手入れ方法 ……25
9.1 バックルのお手入れ ……25
9.2 カバーのクリーニング ……27
9.3 カバーの取り外し ……28
9.4 ベルトの取り外し ……29
9.5 ベルトの取り付け ……30
9.6 カバーの取り付け ……31
10. 廃棄方法 ……33
11. 次のチャイルドシート ……33

1. マーク表示について

必ずお使いになる前にお読みください。

当商品は、お子さまの命を守る重要な役目を果す商品ですが、取扱説明書の指示に従わないと本来の機能をはたさず、事故に合われた時にお子さまが死亡または重大な傷害を負う恐れがあります。
取扱説明書を必ずお読みいただき十分ご理解のうえ、正しくご使用くださるようお願い致します。

●本書では、運転者や他の人が傷害を負ったりする可能性のあることを下記の表示を使って記載し、その危険性や回避方法などを説明しています。
これらは重要ですので、しっかりお読みください。

⚠危険

● **指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至るもの**

⚠警告

● **指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの**

⚠注意

● **指示に従わないと、傷害をうける可能性があるもの**

●当商品に関することや、その他のアドバイスは下記の表示を使って記載しています。
しっかりお読みください。

アドバイス

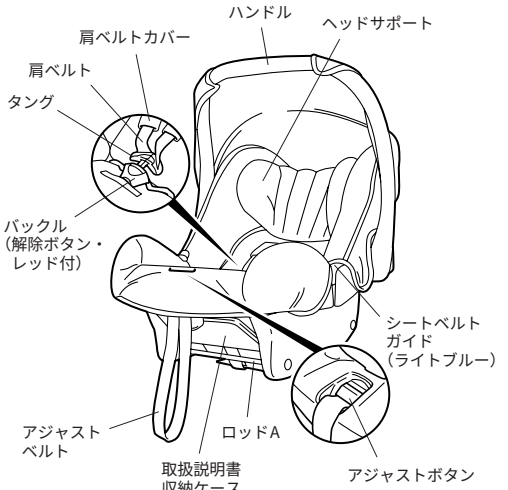
・当商品が故障、破損するのを防ぐためアドバイスを記載しています。
・異常事態の処置方法を記載しています。
・当商品を確実にお取り付けして頂くためのアドバイスを記載しています。

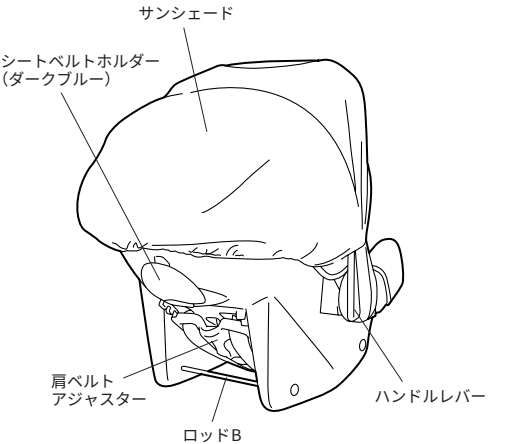
知識

知っておいていただきたいこと、知っておくと便利なこと
を記載しています。

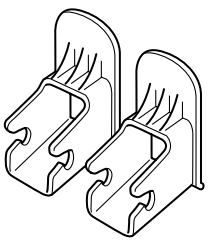
2.　各部の名称・同梱品

2.1　ベビーシート

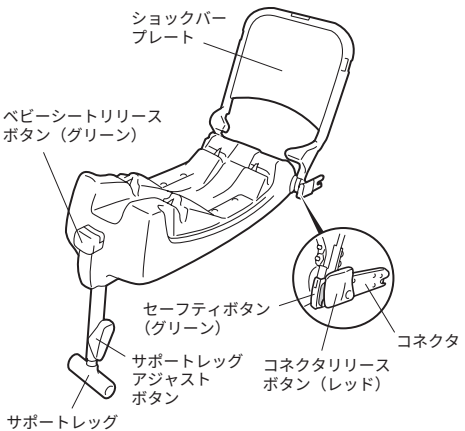




2.2　同梱品



ガイドカップ（2個）



ISOFIXベース

取扱説明書

3. 認可、適合性

認定

チャイルドシート	ECE* R 44/04に基づく試験と認定	
	グループ	体重
Honda Baby ISOFIX	0+	13 kg まで

*ECE = 安全装置用欧州基準

・このチャイルドシートは、子供用安全装置の欧州基準（ECE R 44/04）に従って設計、試験、認定されています。
合格マークEと認定番号は、認定ラベル（チャイルドシートに貼付してあるシール）にあります。
・チャイルドシートに改造を加えた場合は、認可は取り消されます。

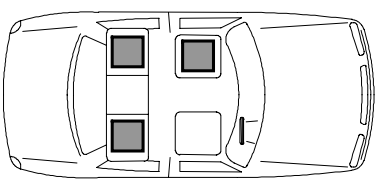
4. 車両内での使用

⚠警告

- エアバックが作動してベビーシートに当たると、お子様の大怪我や死亡につながる危険があります。

  フロントエアバックが装備された助手席では使用しないでください。

車両取扱説明書のチャイルドシートの使用についての指示説明を参照してください。



次のとおりにベビーシートをご使用いただけます：

前向き	×
後ろ向き	○
2点式ベルト	× 1)
3点式ベルト	○ 2)
助手席での使用	× 3)
後座席の窓側席での使用	○
後座席の真ん中の席	× 4)

1）2 点式ベルトを使用すると、事故の場合にお子様が怪我をする危険があります。

2）ベルトは、ECE R 16（あるいは同様の基準）に従って認定されたものでなくてはいけません。ベルトの合格ラベルにある丸で囲まれた「E」、「e」など。

3）フロントエアバッグが装備されていない助手席では使用できます。

4）3 点式ベルトの場合は使用できます。

5. お子様の安全

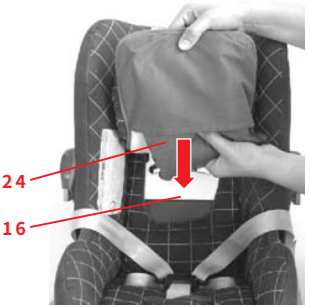
⚠注意

お子様の保護

- 必ずベビーシートのお子様のシートベルトを締めてください。
- ベビーシートを高い場所に置く場合は、お子様から目を離さないでください。
（おむつ替え台、テーブルなど）
- アジャストベルト(8)が移動する部分（自動ドア、エレベーターなど）に挟まれないようにしてください。
- ベビーシートのプラスチック部分は太陽に当たると熱くなります。お子様が火傷をする危険があります。お子様とベビーシートが直射日光に当たらないようにしてください。

⚠注意

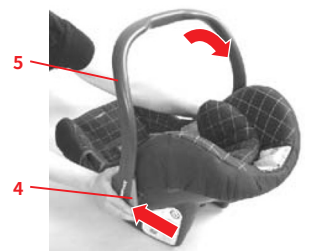
- ベビーシートは1つの座席の上に適切に設置されていなければなりません。
- お子様に負担が掛からないように、頻繁に休憩を取りお子様を抱き上げてください。
- お子様が小さい間は、付属するサポートクッションをご使用ください。
- サポートクッションは、ヘッドサポートが一番下の位置にある時のみご使用ください（5.1を参照）。



5.1 サポートクッションの取り外し

サポートクッション(24)はお子様が大きくなって、ヘッドサポート(16)を一番下の位置から上げて高さを調節するまでお使いいただけます（5.4を参照）。

- サポートクッション(24)が不要の場合、ヘッドレストカバーの袋から取り出します。



5.2 ハンドルの調節

ハンドルは3つの位置で固定することができます。

- ハンドル(5)の両方のハンドルレバー(4)を同時に押してください。

- ハンドルレバー(4)を押してハンドル(5)を前後に回して、希望する位置に固定します。

A

B

C

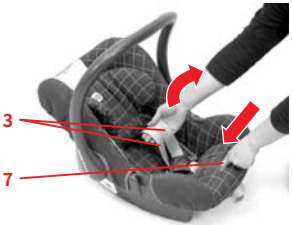
- **A**：持ち運びや自動車に装着する場合の位置
  ベビーシートを持ち上げる前に、ハンドル(5)がしっかり固定していることを確認します。

- **B**：お子様をベビーシートに座らせる場合の位置

アドバイス

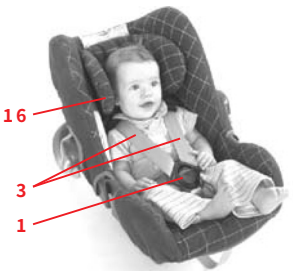
BからAにハンドル(5)を調節する場合は、ハンドルレバー(4)を押さなくても調節できます。

- **C**：自動車の外で安定性を保つ場合の位置



5.3 肩ベルトを緩める

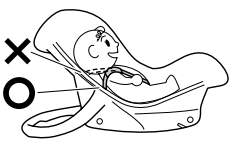
⇘ アジャストボタン(7)を押して、両方の肩ベルト(3)を前に引き出します。

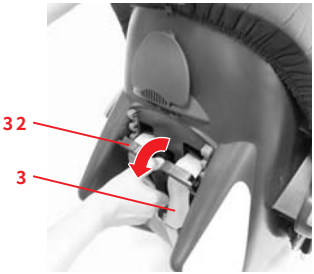


5.4 ヘッドサポートの調節

ヘッドサポート(16)を正しく調節して、ベビーシートのお子様の理想的な体勢に保ちます。

ヘッドサポート(16)は、肩ベルト(3)がお子様の肩の高さか、肩より少し低めの位置にくるように調節します。

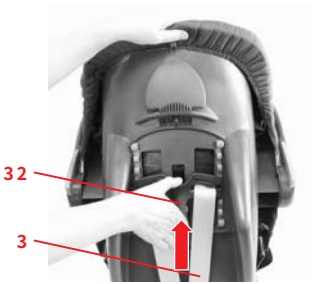




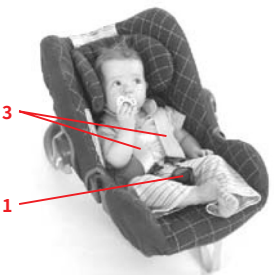
次の通りに、ヘッドサポート(16)の高さを、お子様に合わせて調節できます。

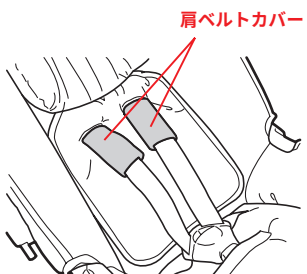
バックル(1)を開きます（解除ボタン(レッド)を押します)。

肩ベルトアジャスター(32)を手前に引きストッパーから外します。



肩ベルトアジャスター(32)を適切なベルトの高さに押し上げて固定します。
・肩ベルトアジャスター(32)が溝にしっかり固定されていることを確認してください。





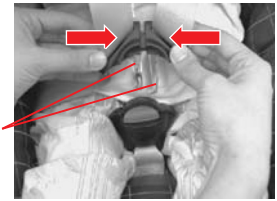
5.5　お子様のベルトを締める

- 肩ベルトを緩めます。
  （5.3を参照）

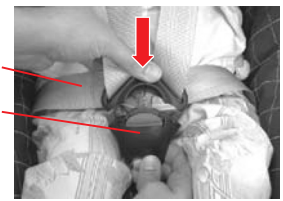
- バックル(1)を開きます（解除ボタン（レッド）を押します）。

- お子様をベビーシートに座らせます。

- 肩ベルト(3)をお子様の肩の上に掛けます。
  ・肩ベルトがねじれてないことを確認してください。
  ・肩ベルトカバーがお子様の肩からズレないようにしてください。



- 両方のタング(2)を合わせます。



- ...次に、バックル(1)をカチッと音がするように差し込みます。
  カチッ！

- ベルトは、お子様の体にぴったりするように締めつけてください。
  (5.6 を参照)

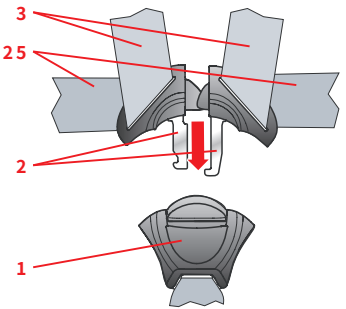
  ・腰ベルト(25)は、お子様の腰のできるだけ深い位置にくるようにしてください。

5.6　ベルトを締める

⇘ アジャストベルト(8)を持って真っ直ぐに引きます。
上や下に引っ張らないでください。

アドバイス

アジャストベルト(8)の端末を取扱説明書収納ケースに引っ掛けることができます。



5.7 次の通りにお子様の安全を確認してください

⚠注意

お子様安全のために、次の点を確認してください…

- **ベビーシートの肩ベルト(3)が体にぴったりしていて、お子様を締めつけているか？**
- **肩ベルト(3)が正しく調節されているか？**
- **肩ベルト(3)がねじれていないか？**
- **タング(2)がバックル(1)の中にしっかり差し込まれているか？**

6. 車両内への取り付け

⚠警告

- お子様をベビーシートに座らせたまま自動車に一人にしないでください。

⚠注意

乗員の安全

急ブレーキや事故の際には、乗員の怪我の原因になることがありますので必ず次の点にご注意ください...

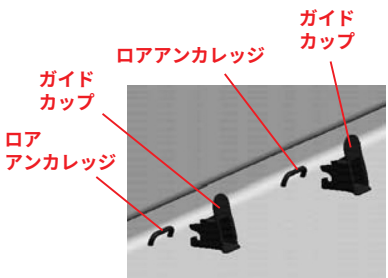
- 後部座席のシートバックが固定されていること。
- 車内にある重い物や尖った物が固定されていること。
- 全員シートベルトを締めていること。
- 車内のベビーシートは、お子様が座っていない場合でも固定されていること。

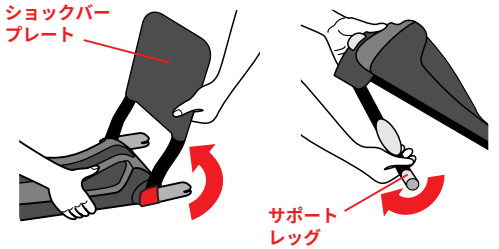
アドバイス

・自動車座席カバーの生地（ビロードや革など）によっては、ベビーシートを使用すると跡が付くことがあります。跡が付かないように、カバーやタオルを下に敷いてください。

知 識

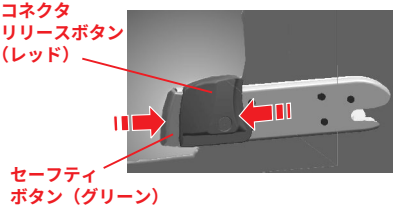
両方のガイドカップを車両座席の両方のロアアンカレッジ（座面と背もたれの間にあります）の上に留めます。みぞを上に向けます。
*ガイドカップはコネクタのロアアンカレッジへの取り付けを容易にし、シートカバーの破損を防ぎます。使用しない場合は取り外して保管してください。シートリクライニング機構のある車両では、リクライニングする前にガイドカップを取り外します。コネクタのロックの機能トラブルの多くは、ガイドカップとホックの汚れが原因です。汚れを取り除いて機能トラブルを解決します。



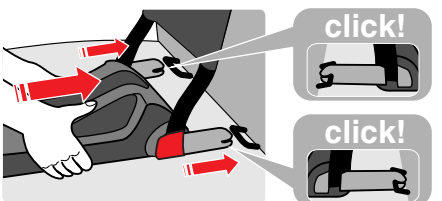


6.1 ISOFIXベースを使用して取り付ける場合

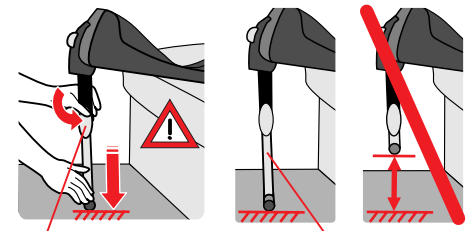
- ISOFIXベースのショックバープレートを上方へ引き上げます。
- サポートレッグを下方へ引き出します。

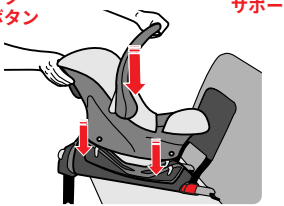


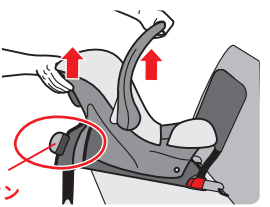
- セーフティボタン（グリーン）とコネクタリリースボタン（レッド）を矢印の方に一緒に押し、セーフティボタン（グリーン）のグリーンのマークが見えていないことを確認します。



- 両手でISOFIXベースを持ち、両方のセーフティボタン（グリーン）とコネクタリリースボタン（レッド）を押しながらコネクタをロアアンカレッジに固定します。（「カチッ」とロックしてグリーンのマークが両方見えていることを確認してください。）
  - 両方のコネクタがロアアンカレッジに確実に固定されているか確認してください。
  - セーフティボタン（グリーン）とコネクタリリースボタン（レッド）を押すことでロックを解除できます。



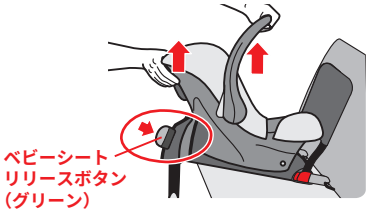


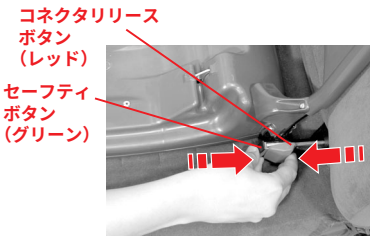


- サポートレッグアジャストボタンを押してサポートレッグを車両のフロアに届くまで調整します。
  ・車両のフロアとスキ間がないようにしてください。

- ISOFIXベースの上面に何もないことを確認してください。また、ハンドルが上の位置A（P9参照）であることを確認してください。

- ベビーシートをISOFIXベースに置きロッドAとロッドBを固定してください。
  ・ベビーシートリリースボタン（グリーン）の緑色のマークが見えることを確認しベビーシートを上げてISOFIXベースに確実に固定されているか確認してください。





ISOFIXベースの取り外し

- ベビーシートリリースボタン（グリーン）を押しながらベビーシートを上に引きベビーシートを取り外す。

- セーフティボタン（グリーン）とコネクタリリースボタン（レッド）を矢印の方に一緒に押し、コネクタのロックを解除して、ISOFIXベースを取り外す。

6.2 ベビーシートをシートベルトで取り付ける場合

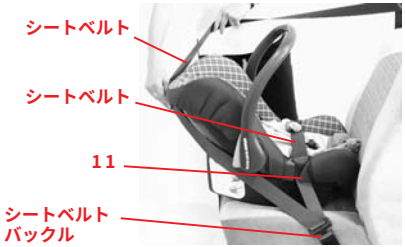
次の通りに車両の3点式ベルトでベビーシートを固定します。

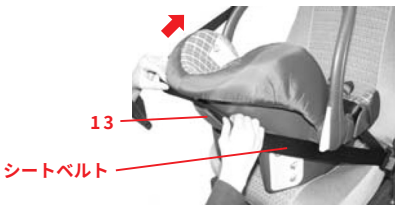
- ベビーシートは、車両進行方向と反対に向けて（お子様は後ろ向きになります）車両座席に設置してください。

知識

ベビーシートが座席の上で不安定だったり、斜めになる場合は、下にタオルなどを敷いて対応してください。または、他の座席に移動してください。

- ハンドル(5)が上の位置A(P9参照)にあることを確認してください。
- シートベルトを引いてベビーシートの上に掛けます。
- 車両のタングをシートベルトバックルの中に差し込みます。
- シートベルトを、ベビーシートの両側にあるシートベルトガイド（ライトブルー）(11)に通します。
  ・シートベルトがねじれていないことを確認してください。
- 肩側のシートベルトを引きゆるみを取る。
  ・シートベルトバックルは、シートベルトガイド（ライトブルー）(11)の中側にあったり、進行方向に向かってシートベルトガイド（ライトブルー）(11)より前にならないようにしてください。





肩側のシートベルトを引き出しながらシートベルトをベビーシートの背面側に回します。

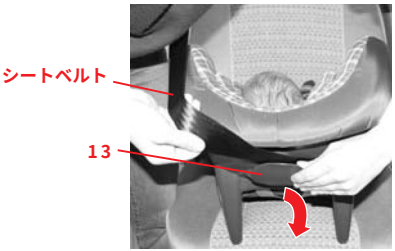
背面側に回したシートベルトを、シートベルトホルダー（ダークブルー）(13)とベビーシートの間を通して掛けます。
・シートベルトはねじれないようにしてください。

ベビーシートを車両シートに押し付けながら肩側のシートベルトを引き、シートベルトのゆるみを取ります。

チャイルドシート固定機構が付いたシートベルトの場合は、シートベルトを全量引き出しチャイルドシート固定機構に切り替える。

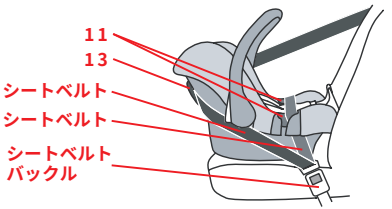
知識

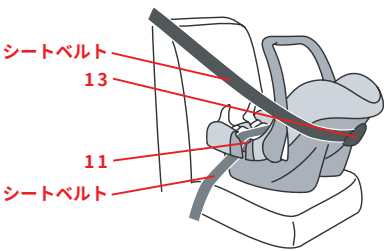
チャイルドシートの固定機構の詳しい取扱いについては車両の取扱説明書を参照してください。

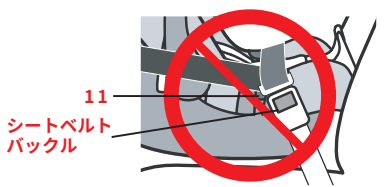


ベビーシートの取り外し

- シートベルトホルダー（ダークブルー）(13)をベビーシート背面から少しひろげ、シートベルトを外します。
- シートベルトバックルを解除し、シートベルトをシートベルトガイド（ライトブルー）(11)から外します。





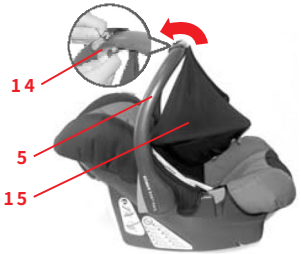


6.3 次の通りにベビーシートが正確に取り付けられていることを確認してください

⚠注意

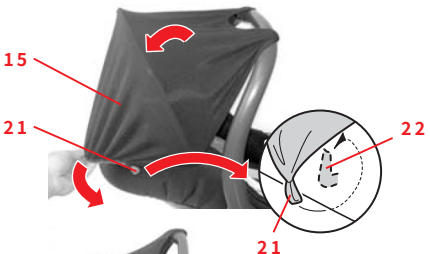
お子様の安全のために、次の点を確認してください…

- **ベビーシートが後ろ向きに固定されていること。**
- **ベビーシートが助手席に取り付けられている場合は、フロントエアバッグが装備されていないこと。**
- **ベビーシートは3点式ベルトで固定されていること。**
- **腰を固定するシートベルトは、2つのシートベルトガイド（ライトブルー）(11)に通っていること。**
- **肩側のシートベルトは、シートベルトホルダー（ダークブルー）(13)とベビーシートの間を通っていること。**
- **シートベルトバックルは、シートベルトガイド（ライトブルー）(11)の中側や、シートベルトガイド（ライトブルー）(11)の前にないこと。**
- **シートベルトはねじれていないこと。**

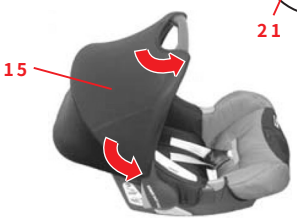


7. サンシェードの取り付け

- サンシェード(15)のゴム(14)をハンドル(5)上部のフック(2ヶ所)に取り付けます。



- サンシェード(15)をベビーシートの上側に被せます。
- ゴム輪(21)をベビーシートの端の下にあるホック(22)に掛けます。



- サンシェード(15)の端をハンドル(5)の横側に被せます。

8. 保護性能の維持

⚠注意

- **この子供用安全装置の保護性能は正しく使用し、取扱説明書に従って取り付けた場合に得られます。**
- **時速10kmを越える衝撃速度の事故の際には、ベビーシートに肉眼では判別できない破損が生じることがありますので再使用しないでください。**
- **定期的に重要な部分に破損がないかどうか点検してください。機能が問題なく作動することを確認してください。**
- **ベビーシートは固い部分（自動車のドアやシートレールなど）の間に挟まると、破損することがあります。**
- **ベビーシートが破損した場合（落とした後など）は、再使用しないでください。**

9. お手入れ方法

9.1 バックルのお手入れ

バックルの大切な役割は安全維持です。バックルの機能トラブルの多くは汚れが原因です。

機能トラブルの例

・解除ボタン(レッド)を押しても、タングをすぐに取り外せない。

・タングを差し込めない(また、取り出すこともできない)。

・タングを差し込む時に「カチッ」という音がしない。

・タングを差し込む時に引っ掛かる(柔らかい感じ)。

・力を入れないとバックルが開かない。

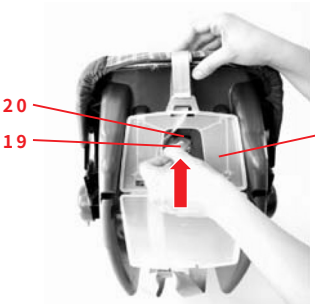
対処方法

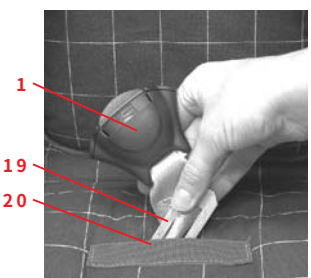
次の通りにバックルの汚れを取り除き、問題なく機能するようにします。

1.バックルの取り外し

⇘ バックル(1)を開きます(解除ボタン(レッド)を押します)。

⇘ 肩ベルトを緩めます(5.3を参照)。





- ベビーシートを後に倒して取扱説明書収納ケースを開きます。

- バックル(1)を固定している金属プレート(19)を、ベルト穴(20)に縦に通し取り外します。

2.バックルの洗浄

- バックル(1)を最低1時間洗剤を溶かしたお湯に漬けます。その後すすいでよく乾かします。

3.バックルの取り付け

- 金属プレート(19)を、上から下に向かってカバーのベルト穴(20)**と本体**に縦に通します。
  バックル(1)を強く引いて、**しっかり固定されていることを確認します。**

機能トラブル

・タング(2)をバックル(1)に差し込めない。

対処

- 一度解除ボタン（レッド）を押します。

9.2　カバーのクリーニング

カバーは重要な役割を果たしています。破損した場所は新しいカバーをお使いください。スペア部品は、販売店または弊社お客様相談室にご連絡ください。

⚠注意

- **カバーなしでは使用しないでください。**

アドバイス

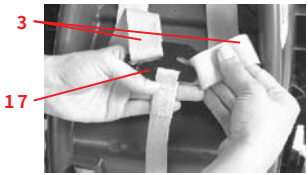
・カバーは、取り外して中性洗剤を使って30℃で手洗いできます。カバーの洗濯ラベルに記載されている洗濯方法に従ってください。30℃を超える温度で洗濯すると、カバーの生地の色が落ちることがあります。カバーは脱水機・乾燥機に掛けないでください（生地とインナークッションがはなれることがあります。）。

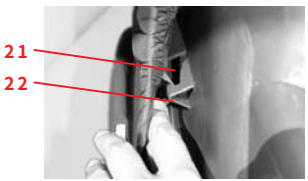
・**プラスチック部分**は、石鹸水で洗うことができます。強い洗剤（シンナーなど）は**使用しない**でください。

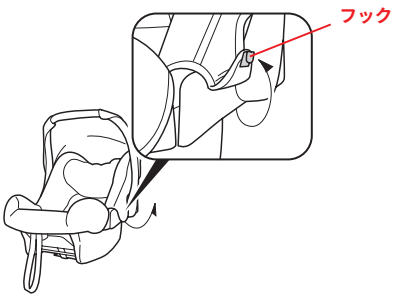
・**ベルト**は、石鹸を溶かしたぬるま湯で洗うことができます。

知識

タング(2)はベルトから取り外さないでください。

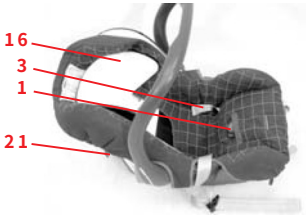






9.3 カバーの取り外し

- バックル(1)を開きます(解除ボタン(レッド)を押します)。
- 肩ベルト(3)をベルトハンガー(17)から外します。
- カバーのゴム輪(21)を、ベビーシートのホック(22)から外します。
- 肩ベルト(3)をベルト穴(6)・肩ベルトカバーから引き出します。
- ベビーシートからカバーのフックを取り外します。

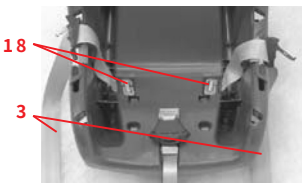


- 肩ベルト(3)を、タング(2)と一緒にカバーから取り出します。
- バックル(1)をカバーから取り出します。
- 肩ベルトカバー(26)を取り出します。
- これで、ヘッドサポート(16)を外してカバーを取り外すことができます。

アドバイス

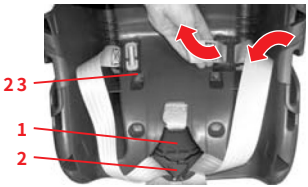
この時、発泡クッションを破損しないように注意してください。

9.4 ベルトの取り外し

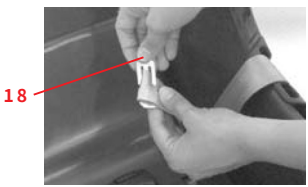


- 肩ベルト(3)とカバーを取り外します（9.3を参照）。
- 肩ベルト(3)をベビーシートの下に固定している金具(18)から取り出します。
- 金具(18)の短い側にあるベルトの留め輪から金具(18)を取り外します。
- これで、ベルトを取り外すことができます。

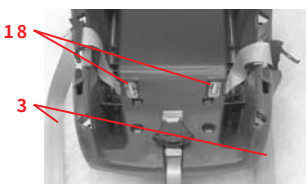
9.5　ベルトの取り付け



⇘ ベルトの留め輪を、ベビーシートの外側、次に内側の横穴(23)に通します。
・ベルトはねじらないでください。



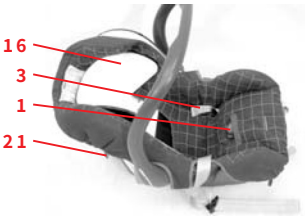
⇘ 金具(18)をベルトの留め輪に掛けます。

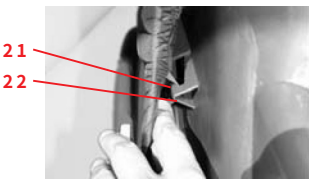


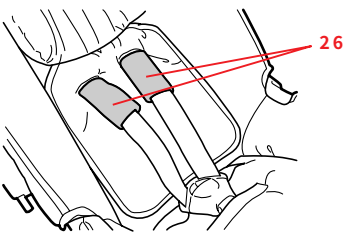
⇘ 金具(18)が真っ直ぐにベビーシートの溝に納まるまで、肩ベルト(3)を引きます。

⇘ タング(2)を差し込み、肩ベルト(3)がねじれていないことを確認してください。

⇘ タング(2)を外し、カバーを取り付けます(9.6を参照)。

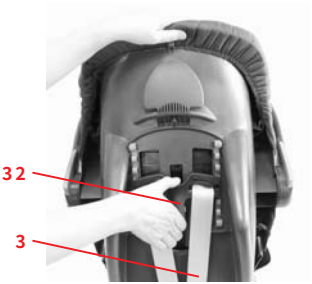


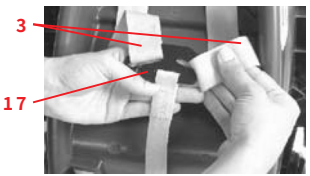




9.6　カバーの取り付け

- ヘッドサポート(16)の上に、カバーを被せます。
- 肩ベルト(3)を、タング(2)と一緒にカバーに通します。
- バックル(1)をカバーに通します。
- 肩ベルトカバー(26)と連結ゴムを、ヘッドレストカバーのベルト穴に通します。
- ヘッドサポート(16)にカバーを被せます。
- ゴム輪(21)をベビーシートの端にあるホック(22)に掛けます。
- タング(2)をバックル(1)に差し込みます(5.5を参照)。





↘ 肩ベルトカバー(26)に肩ベルト(3)を通した後、本体のベルト穴と肩ベルトアジャスター(32)の穴に肩ベルト(3)を通す。
・肩ベルト(3)がねじれていないことを確認してください。

↘ 肩ベルト(3)をベルトハンガー(17)に取り付けます。
・この時、肩ベルト(3)をロッドBの内側に通してください。

10. 廃棄方法

お住まいの自治体の廃棄規制に従ってください。

11. 次のチャイルドシート

チャイルドシート	試験と認定 ECE R 44/04	
	グループ	体重
Honda Kids ISOFIX	I	9kg~18kg

●商品についてのお問い合わせは、お買い求めの販売店または、(株) ホンダアクセス お客様相談室までお願いします。

株式会社ホンダアクセス「お客様相談室」全国共通フリー ダイヤル

0120-663521 (受付時間:**9時～12時 13時～17時**／但し、土日・祝祭日は除く)

発売元 株式会社ホンダアクセス　〒352-8589　埼玉県新座市野火止8丁目18番4号

不許複製 株式会社ホンダアクセス

08P90-E13-0000-8C